

新型^{しんがた}コロナウイルス^{かんせんしゅう}感染症^{じょうきょう}の^に状^{ねん}況^たも二年^{さんねんめ}が^{むか}経^{びようき}ち、三年^{びようき}目を^{じゆう}迎^{じゆう}えました。この^{びようき}病^{じゆう}気^{じゆう}がいつ^{じゆう}まで^{じゆう}続^{じゆう}くかという^{じゆう}心^{じゆう}配^{じゆう}や不^{じゆう}安^{じゆう}は勿^{じゆう}論^{じゆう}、個^{じゆう}人^{じゆう}的^{じゆう}には果^{じゆう}たして^{じゆう}人^{じゆう}類^{じゆう}が^{じゆう}この^{じゆう}病^{じゆう}気^{じゆう}から^{じゆう}自^{じゆう}由^{じゆう}にな^{じゆう}れるのかという^{じゆう}疑^{じゆう}いも抱^{じゆう}いてい^{じゆう}ます。と^{じゆう}にか^{じゆう}く、神^{じゆう}様^{じゆう}の慈^{じゆう}しみと憐^{じゆう}れみ^{じゆう}を願^{じゆう}いなが^{じゆう}ら、み^{じゆう}ん^{じゆう}な^{じゆう}が^{じゆう}一^{じゆう}層^{じゆう}注^{じゆう}意^{じゆう}を^{じゆう}払^{じゆう}つて^{じゆう}生^{じゆう}活^{じゆう}する^{じゆう}こ^{じゆう}と^{じゆう}が^{じゆう}大^{じゆう}事^{じゆう}だ^{じゆう}と^{じゆう}思^{じゆう}い^{じゆう}ま^{じゆう}す。そ^{じゆう}し^{じゆう}て、こ^{じゆう}の^{じゆう}状^{じゆう}況^{じゆう}が^{じゆう}思^{じゆう}っ^{じゆう}た^{じゆう}よ^{じゆう}り^{じゆう}も^{じゆう}長^{じゆう}く^{じゆう}な^{じゆう}っ^{じゆう}て^{じゆう}い^{じゆう}る^{じゆう}の^{じゆう}で、そ^{じゆう}れ^{じゆう}に^{じゆう}伴^{じゆう}う^{じゆう}様^{じゆう}々^{じゆう}な^{じゆう}問^{じゆう}題^{じゆう}に^{じゆう}対^{じゆう}して^{じゆう}も、前^{じゆう}も^{じゆう}つ^{じゆう}て^{じゆう}準^{じゆう}備^{じゆう}し^{じゆう}な^{じゆう}け^{じゆう}れ^{じゆう}ば^{じゆう}な^{じゆう}ら^{じゆう}な^{じゆう}い^{じゆう}と^{じゆう}い^{じゆう}う^{じゆう}気^{じゆう}が^{じゆう}し^{じゆう}ま^{じゆう}す。特^{じゆう}に^{じゆう}気^{じゆう}に^{じゆう}な^{じゆう}る^{じゆう}の^{じゆう}は、も^{じゆう}し^{じゆう}か^{じゆう}す^{じゆう}ると^{じゆう}こ^{じゆう}の^{じゆう}病^{じゆう}気^{じゆう}に^{じゆう}よ^{じゆう}つ^{じゆう}て、人^{じゆう}と^{じゆう}の^{じゆう}健^{じゆう}全^{じゆう}な^{じゆう}絆^{じゆう}を^{じゆう}う^{じゆう}ま^{じゆう}く^{じゆう}築^{じゆう}け^{じゆう}な^{じゆう}い^{じゆう}よ^{じゆう}う^{じゆう}に^{じゆう}な^{じゆう}る^{じゆう}か^{じゆう}も^{じゆう}し^{じゆう}れ^{じゆう}な^{じゆう}い^{じゆう}と^{じゆう}い^{じゆう}う^{じゆう}こ^{じゆう}と^{じゆう}で^{じゆう}す。マ^{じゆう}ス^{じゆう}ク^{じゆう}の^{じゆう}た^{じゆう}め^{じゆう}に^{じゆう}半^{じゆう}分^{じゆう}し^{じゆう}か^{じゆう}見^{じゆう}え^{じゆう}な^{じゆう}い^{じゆう}人^{じゆう}の^{じゆう}顔^{じゆう}、し^{じゆう}か^{じゆう}も、人^{じゆう}と^{じゆう}の^{じゆう}距^{じゆう}離^{じゆう}を^{じゆう}意^{じゆう}識^{じゆう}し^{じゆう}な^{じゆう}け^{じゆう}れ^{じゆう}ば^{じゆう}な^{じゆう}ら^{じゆう}な^{じゆう}い^{じゆう}霧^{じゆう}困^{じゆう}気^{じゆう}の^{じゆう}中^{じゆう}で^{じゆう}の^{じゆう}生^{じゆう}活^{じゆう}が、近^{じゆう}い^{じゆう}将^{じゆう}来^{じゆう}、わ^{じゆう}た^{じゆう}し^{じゆう}た^{じゆう}ち^{じゆう}の^{じゆう}社^{じゆう}会^{じゆう}や^{じゆう}世^{じゆう}界^{じゆう}を^{じゆう}ど^{じゆう}の^{じゆう}よ^{じゆう}う^{じゆう}に^{じゆう}変^{じゆう}え^{じゆう}て^{じゆう}し^{じゆう}ま^{じゆう}う^{じゆう}の^{じゆう}か^{じゆう}と^{じゆう}い^{じゆう}う^{じゆう}恐^{じゆう}れ^{じゆう}も^{じゆう}あ^{じゆう}り^{じゆう}ま^{じゆう}す。そ^{じゆう}し^{じゆう}て^{じゆう}そ^{じゆう}の^{じゆう}時^{じゆう}、教^{じゆう}会^{じゆう}と^{じゆう}私^{じゆう}た^{じゆう}ち^{じゆう}は^{じゆう}何^{じゆう}を^{じゆう}も^{じゆう}つ^{じゆう}て^{じゆう}こ^{じゆう}の^{じゆう}世^{じゆう}の^{じゆう}光^{じゆう}と^{じゆう}して^{じゆう}あ^{じゆう}る^{じゆう}べ^{じゆう}き^{じゆう}か^{じゆう}を、こ^{じゆう}れ^{じゆう}か^{じゆう}ら^{じゆう}考^{じゆう}え^{じゆう}な^{じゆう}け^{じゆう}れ^{じゆう}ば^{じゆう}な^{じゆう}ら^{じゆう}な^{じゆう}い^{じゆう}と^{じゆう}思^{じゆう}い^{じゆう}ま^{じゆう}す。

今日^{きょう}の^{だい}第^{いち}朗^{ろう}読^{どく}で、神^{かみ}様^{さま}はエ^{かた}レ^かミ^{かれ}ヤ^{じぶん}に^{よげんしゃ}語^たり^た掛^たけ、彼^{かれ}を^{じぶん}ご^{よげんしゃ}自^た分^たの^た預^た言^た者^たと^たして^た立^たて^たら^たれ^たま^たし^たた。神^{かみ}様^{さま}は^ま先^まず、エ^うレ^まミ^まヤ^まに^ま生^まま^まれる^ま前^まの^まこ^まと^まを^ま思^まい^ま起^まこ^まさ^ませ^まな^まが^まら、神^{かみ}ご^{じしん}自^{かれ}身^{とも}が^{つく}彼^{つく}と^{つく}共^{つく}に^{つく}お^{つく}ら^{つく}れる^{つく}造^{つく}り^{つく}主^{つく}で^{つく}あ^{つく}る^{つく}こ^{つく}と^{つく}を^{つく}悟^{つく}ら^{つく}せ^{つく}て^{つく}く^{つく}だ^{つく}さ^{つく}い^{つく}ま^{つく}し^{つく}た。そ^{つく}れ^{つく}は、彼^{かれ}が^{よげんしゃ}預^う言^う者^うと^うして^う受^うけ^うな^うけ^うれ^うば^うな^うら^うな^うい^う様^{さま}々^{さま}な^{さま}迫^{さま}害^{さま}や^{さま}脅^{さま}威^{さま}の^{さま}前^{さま}にも、決^{けつ}して^{おそ}恐^{おそ}れる^{おそ}こ^{おそ}と^{おそ}が^{おそ}な^{おそ}い^{おそ}よ^{おそ}う^{おそ}に^{おそ}す^{おそ}る^{おそ}た^{おそ}め^{おそ}の^{おそ}こ^{おそ}と^{おそ}で^{おそ}し^{おそ}よ^{おそ}う^{おそ}。自^{じぶん}分^{たんじょう}の^{たんじょう}誕^{たんじょう}生^{たんじょう}の^{たんじょう}こ^{たんじょう}と^{たんじょう}から^{たんじょう}始^{じじつ}め^{じじつ}、自^{かみ}分^{みづか}の^{みづか}す^{みづか}べ^{みづか}て^{みづか}を^{みづか}知^{みづか}つ^{みづか}て^{みづか}お^{みづか}ら^{みづか}れる^{みづか}神^{かみ}様^{さま}が^{みづか}自^{みづか}ら^{みづか}味^{みづか}方^{みづか}と^{みづか}な^{みづか}つ^{みづか}て^{みづか}く^{みづか}だ^{みづか}さ^{みづか}る^{みづか}と^{みづか}い^{みづか}う、事^{じじつ}実^{じじつ}よ^{じじつ}り^{じじつ}確^{じじつ}かな^{じじつ}力^{じじつ}は^{じじつ}他^{じじつ}に^{じじつ}は^{じじつ}な^{じじつ}い^{じじつ}は^{じじつ}ず^{じじつ}で^{じじつ}す。エ^{かみ}レ^{しんらい}ミ^おヤ^{よげんしゃ}は^おそ^{よげんしゃ}の^{よげんしゃ}神^{よげんしゃ}様^{みち}に^{あゆ}信^{あゆ}頼^{あゆ}を^{あゆ}置^{あゆ}いて、預^{よげんしゃ}言^{みち}者^{あゆ}と^{あゆ}して^{あゆ}の^{あゆ}道^{あゆ}を^{あゆ}歩^{あゆ}み^{あゆ}続^{あゆ}け^{あゆ}ま^{あゆ}し^{あゆ}た^{あゆ}が、時^{とき}々^{いろいろ}、色^{なや}々^{くる}な^{くる}悩^{かみ}み^{じぶん}や^{じぶん}苦^{うた}しみ^{うた}で^{うた}神^{かみ}様^{じぶん}に^{じぶん}自^{うた}分^{うた}の^{うた}こ^{うた}と^{うた}を^{うた}訴^{うた}え^{うた}たり^{うた}し^{うた}ま^{うた}し^{うた}た。で^{うた}も、神^{かみ}様^{よわ}は^{よわ}そ^{なぐさ}ん^{なぐさ}な^{なぐさ}弱^{ちからづ}い^{ちからづ}エ^{ちからづ}レ^{ちからづ}ミ^{ちからづ}ヤ^{ちからづ}を^{ちからづ}慰^{はげ}め^{はげ}て^{はげ}く^{はげ}だ^{はげ}さ^{はげ}り、ま^{はげ}た^{はげ}、力^{ちからづ}付^{ちからづ}け^{ちからづ}て^{ちからづ}く^{ちからづ}だ^{ちからづ}さ^{ちからづ}い^{ちからづ}ま^{ちからづ}し^{ちからづ}た。そ^{ちからづ}れ^{ちからづ}に^{ちからづ}励^{はげ}ま^{はげ}さ^{はげ}れ、エ^{さいご}レ^{さいご}ミ^{かみ}ヤ^{よげんしゃ}は^{よげんしゃ}最^{みち}後^{あゆ}の^{あゆ}最^{あゆ}後^{あゆ}ま^{あゆ}で^{あゆ}神^{あゆ}様^{あゆ}の^{あゆ}預^{あゆ}言^{あゆ}者^{あゆ}と^{あゆ}して^{あゆ}の^{あゆ}道^{あゆ}を^{あゆ}歩^{あゆ}み^{あゆ}抜^{あゆ}く^{あゆ}こ^{あゆ}と^{あゆ}が^{あゆ}で^{あゆ}き^{あゆ}た^{あゆ}の^{あゆ}で^{あゆ}す。

事^{じじつ}実^{きゆうやく}、旧^{よげんしゃ}約^{みち}の^{けつ}預^{らく}言^{みち}者^{みち}た^{みち}ち^よの^{なか}道^{なか}は、決^よして^よ楽^よな^よ道^よで^よは^よあ^より^よま^よせ^よん^よで^よし^よた。そ^よの^よ道^よは^よほ^よぼ、世^よの^{なか}中^{なか}の^{なか}色^{いろいろ}々^{ちから}な^ふ力^ふを^ふ振^しる^しっ^して^しい^した^し支^{かみ}配^{とお}者^{ひと}た^{ひと}ち^{ひと}や、神^{かみ}様^{とお}か^{ひと}ら^{ひと}遠^たざ^たか^たつ^たて^たい^たた^た人^たた^たち^たと^たの^た戦^たい^たの^た道^たで^たし^たた。

その疲れ果てた道で預言者を支えてくれたのは、神様との特別な絆だったのです。それは、まるで契約のようなもので、預言者が神様への信頼とその絆を守っている限り、神様は彼の力となってくださったわけです。逆に言うと、預言者が神様ではなく、世の中の権力や財力などの力に頼り、また、信仰から離れている人たちの仲間となってしまうたら、彼はもはや預言者としての資格を失ったと言っても過言ではありません。そういうことで、預言者はただ愛と慈しみに満ちておられる神様とのつながりを大切にし、それを守りながら自分の使命、つまり、神様の民を救いの道に導きました。

それはイエス様も同様でした。今日の福音で、イエス様はナザレの人たちから追い払われました。きっと、彼らは自分たちがイエス様を信じることができるよう、イエス様が色々なしるしを示してくださると思っていたのでしょう。しかし、イエス様は彼らの本音を既に見抜いておられました。そこで、イエス様は「医者よ、自分自身を治せ。」ということわざを引用し、更に、シドン地方のサレプタのやもめのことと、重い皮膚病を患っていたシリア人ナアマンのことを語られました。実は、そのサレプタのやもめは神様に全てを任せられた優れた信仰を持っていた人で、ナアマンは自分の不信仰を反省し、それから神様だけを強く信じた人でした。イエス様はその話を通して、神様の民として選ばれたとしても、神様を試し、神様を素直に信じなければ、その人たちは神様の民としてふさわしくないことを示されたのでしょうか。そして、神様の望まれる人とは、神様の慈しみと愛に信頼を置いて素直に信じる人、自分を低くして神様だけに従う人であることを、はっきりと教えられたわけです。事実、イエス様ご自身も神様への信仰と愛、また、人への愛をもって神様に従い、愛と慈しみによる救いの御業を成し遂げられました。そして、ご自分と共に愛と慈しみの道を歩む人を呼び集めて、神様を信じる民、すなわち、教会を立ちあげられたのです。

その教会の生き方は、イエス様の生き方と別のものとなってはいけません。今日の第二朗読で、

わたしたちは使徒パウロの、あの有名な「愛の賛歌」を聞きました。パウロは愛の賛歌を通してイエス様の生き方を教え、教会の人々がそれに忠実になるようにと強く訴えたのです。その愛の賛歌の味わい方としてよく勧められるのは、「愛」と書いてあるところに先ず「神様」を入れて読み、その後、同じところに「私」を入れて読んでみることです。そうすると、自分がどれほど神様の道、イエス様の生き方に近づいているのがわかります。信者の皆さんもぜひ、そのように読んで黙想してみたらいかがでしょうか。わたしたちが行う奉仕や活動がいかに豊かで優れた実を結んでも、神様と人への純粋な愛がなければ、何の誇りにもならない、埃にすぎないものとなるでしょう。

さて、今日の福音でイエス様は「医者よ、自分自身を治せ。」ということわざを用いられました。病気を患っている医者が他人の病気に気を遣うのはおかしいという意味でしょう。でも、命を大事にする医者なら、きっと自分より他人に心を向けるはずです。神様も同様です。すべての病を治すことがお出来になる神様ですが、その神様が酷く患っておられます。その神様の病とは、人間を愛するが故の「愛の熱病」でしょう。その神様の病気を治すことが出来るのは、わたしたち自身なのではという気がします。わたしたちが互いに愛し合うことによって、神様の病は癒されるのです。特に、この感染症のさなかにあるわたしたちが、愛の絆を守ることや強めることは、とても大事なことだと思えます。神様がわたしたちを助け、導いてくださるようお願いいたします。